

奏かつしか 事業計画

H30 年度

社会福祉法人 原町成年寮

## 奏かつしか 平成 30 年度事業計画

### \* 連携型グループホーム 葛の葉 について

#### 1・はじめに

「奏かつしか」として、第一号のグループホーム「葛の葉」は、東京都独自施策の通勤寮連携型グループホームである。

平成 29 年 1 月 1 日付けで、4 名定員の女子寮として立ち上げた。

通勤寮と同等の支援を要するというので、通勤寮と併せて 3 年の利用可能（通過型グループホーム）。家賃がかからない、居室の備え付け家具・電化製品完備、葛飾通勤寮と連携をしながら支援体制を整えるということで、利用者が安心して、負担なくグループホーム生活を段階的に経験できるというメリットがある。

#### 2・利用者について

昨年度は、通勤寮卒寮の 2 名と他グループホームから移行者 1 名を受け入れた。

昨年夏に 1 名は本人の希望により退寮。もう 1 名は 1 年という期限の中で、法人内グループホームに移行予定。

今年度、更に通勤寮 2 年目の 2 名を受け入れる。また、地域からの受け入れも 1 名検討し、4 名の定員で動き出す予定。

#### 3・通勤寮と同等の支援

通勤寮と同等の支援を要する、通勤寮連携型グループホームなので、必要な通勤寮の行事やプログラムに参加する。

##### 1) 参加行事

- ・キャンプ ・福祉マラソン ・かつくら祭 ・納会 ・正月旅行
- ・成人式 ・自治会行事

##### 2) プログラム

- ・女子茶話会（必要な利用者） ・教養（必要な利用者）

\* 金銭支給や身辺、大掃除などは、通勤寮と同日に実施とする。

#### 4・健康管理について

通勤寮の年 2 回の健康診断やインフルエンザ予防接種、歯科検診には参加とする。

定期通院が必要な利用者に関しては、関係医療機関との連携を図り、病状把握と治療に努める。

#### 5・食事について

調理員を配置し、朝と夕の食事を月～土曜日の朝まで作ってもらう。  
また、調理員が休みの時などは、通勤寮給食で提供出来るよう、連携を図り、バランスの良い食事を提供出来るようにする。

#### 6・就労支援について

利用者の職場、各関係機関と連携を図り、利用者が安定した就労継続が出来るよう支援する。  
定期的な職場訪問も実施していく。失業時には、各関係機関との連携と、速やかな再就職を目指せるよう職場開拓・定着支援を実施する。

#### 7・個別支援計画について

6ヶ月に一回、個別支援計画の作成にあたる。それに基づいて、利用者の安定した生活、より豊かな生活を送れるよう支援する。

#### 8・移行準備支援について

期限が近づいてきたら、本人の希望のもと、関係機関との連携を図り速やかに移行出来るよう支援する。管理者は、法人内グループホームとの調整会議に出席する。

#### 7・会議・研修について

- ・月三回の通勤寮指導会に出席。報告検討をする。
- ・利用者支援に生かせるよう、外部研修への参加を計画的に実施する。  
担当職員は、通勤寮内の支援者会議にも出席する。
- ・防災委員会は、通勤寮・クラフトと連携を図り実施する。  
葛の葉独自の避難訓練も年2回以上実施する。
- ・利用者の権利擁護、虐待防止の徹底。必要に応じて内部研修を実施。  
また、外部研修にも参加する。

#### 8・その他

- ① 今年度、奏かつしかとしての新規グループホーム開所に関しては、様子を見ながら検討する。
- ② 今年度、福祉サービス第三者評価を実施する。